



和光の緑と湧き水だより会報 Verda202号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 代表理事 高橋 048-462-9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

一緒に自然に親しみ、ボランティア活動をしましょう 随時会員募集中

2020年1月、2月、3月の主な予定表 (2020年1月発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森 (地域の会に協力して)
2020年 2月	1日川の再生交流会参加 マイクロプラスチックの研究 ポスターセッション	15日(土) 定期保全	8日 富澤湧水保全 9時~10時半 19日(水) 大坂ふれあいの森 9時
3月	28日 和光市環境マップでめぐるエコツアー(カタクリニリンソウを訪ねて)	21日(土曜) 定期保全	14日 富澤湧水調査・保全 18日 大坂ふれあいの森調査・保全

1. 第四小学校区地区社協設立を目指す会(主催)のイベントで竹細工

2019年12月21日(土) 和光市運動場会議室で開催

四小学区地区社協は2019年から多方面に声がけして準備会を毎月1回開き、湧き水の会もこの準備会に参加し協力してきました。今回はいよいよ設立を目指す会のイベントで3つのブースのうち「竹細工体験ブース」を当会が担当し、多くの参加者に体験してもらい喜ばれました。竹は和光市新倉ふれあいの森で整備している竹を活用し、竹細工に精通している湧き水の会の精鋭、杉浦氏の指導をお願いしました。大人も子供も切りたての緑の竹に触れ、竹シャベル、青竹ふみ、竹コップなど制作し楽しみました。



2. 2020年各地の保全活動

2.1 富澤湧水の水路を広げ斜面の土砂をブロックする試み 1月11日



湧水地の斜面からの土砂が少しずつ流れてきて水路の底に積もるのは、自然のなせる業です。数年に一度水底を掘り下げる必要があります。斜面の抑えも必要です。今回は、コンクリートブロックと焼杉を使用しました。水路幅と水底は深くなりましたが、斜面からの土の流入など自然の摂理にはなかなか叶いそうにありません。

斜面上部に上がり、森を見てみると、なだらかな斜面林があり、現在は常緑樹が5割位ですが、落葉樹林へ導けるのではと感じました。ここも今後の課題です。



2. 2 新倉ふれあいの森の竹林の整備 1月18日

急な寒気の到来で小雪交じりの中、新倉ふれあいの森の竹林の整備が進められました。外気温は1～2度、竹林内で雪も気にせずに、竹を見極めて、切り出しが9時から2時間余り行われました。1月末には新倉の高木剪定が行われるようです。



新倉ふれあいの森の竹は、現在様々な場面で活用されています。先日の竹細工体験、箱根の民宿での竹柵づくり、1月末には、新河岸川水系のボランティアの会が竹細工体験に訪れるそうです。益々広域に活用されていきそうです。

2. 3 白子大坂ふれあいの森の会へ協力し、大切な緑地湧水地を活かす

大坂ふれあいの森の街道沿いの樹木はイヌシデ、ムクノキなどが多く、11月から12月かけて沢山の葉が落ち葉となります。落ち葉置き場はすぐにいっぱいになるので、ふれあいの森の広場に敷き詰めることにしました。1月になっても池にもたまりません。小さな水路も落ち葉で隠れます。その下には湧水特有のヘビトンボ、サワガニが棲んでいます。この環境を次の世代に引き継げるように、保全し、伝えていこうと思います。

第四小学校区地区にあることから、小学生たちはこのふれあいの森に遊びに来ているようです。四小校区地区社協では、自然環境豊かな地域を知る：自然を大切にする心を育むことが地域の目指す姿に加わっています。



3. 予告：和光市環境マップでめぐるエコツアー

和光市自然環境マップでめぐるエコツアー



カタクリ・ニリンソウを訪ねて

日時：2020年3月28日(土) 13:00～16:00

集合場所：和光市駅改札口前(受付12:40～)

申し込み：環境課 ☎424-9118

NPO 和光・緑と湧き水の会 ☎462-9912

持ち物：飲物、歩きやすい靴、服装(少雨開催)

